

北海道新聞

令和4年12月15日

日体大高等支援校長 障害福祉に貢献

島崎さん 内閣府表彰

などで校長を務め、教員が

【網走】日体大付属高等支援学校の島崎洋二さん(70)が、5年に1度内閣府が障害者の福祉向上に努めた人に贈る「障害者関係功労者表彰」を受賞した。道内の現役校長が受賞するのは初めて。

島崎さんは、1978年から道立の聾学校で体育教諭として勤務。札幌聾学校障害者関係功労者表彰を受賞した島崎洋二校長



手話を学ぶ環境整備に尽力したほか、聴覚障害者の国際スポーツ大会「デフリンピック」のアルペンスキー日本代表の指導にも携わってきた。高等支援学校開校

の2017年から現職で、生徒がブドウやトウキビを栽培し、商品化する取り組みなどに力を入れている。

5日には東京都で天皇、皇后両陛下や岸田文雄首相が同席する中、表彰式が行われた。島崎さんは「周囲に支えられて頂けた賞。これからも子どもたちとともに学び、頑張っていきたい」と喜んだ。

(池野上通)